

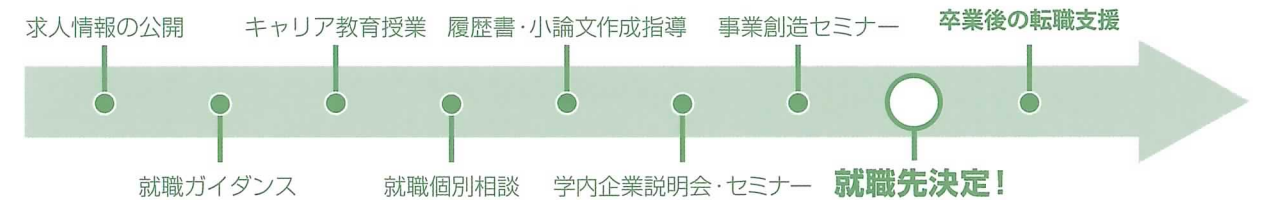
# 充実したキャリアサポートで無理なく就職！あなたの将来を応援します！



就職サポートを担当する「キャリア連携センター」では豊富な就職活動の支援プログラムを用意しています。  
 学内企業説明会や就職ガイダンス、履歴書や小論文・職務経歴書作成の指導、ビジネス創造に関するセミナー、企業との交流会を行い、あなたの将来を応援します。キャリア連携センターの支援により、学生は思い切って学習や課外活動に打ち込めるのです。  
 また、卒業後も継続してキャリア連携センターのサービスを利用できます。

## 就職キャリアサポートの流れ

本学では、就職サポートを担当する「キャリア開発委員会」の専門官による豊富な就職活動の支援プログラムを用意しています。キャリア開発委員会の支援により、思い切って学習や課外活動に打ち込めるのです。学内企業説明会や就職ガイダンス、履歴書や小論文作成の指導を行い、あなたの将来を応援します。また、転職による卒業後の支援プログラムの利用も可能となっています。



## 「スポーツプロモーション」の学士を取得すると職域が広がります。

「学士」は、大学で専門的な知識と技術を修めた人に与えられる称号です。昔は「学士様」と呼ばれる憧れの的でしたが、現代では約半分の人が学士を取得するので、それほどではなくなりました。それでも生涯賃金では、学士を持っているか持っていないかで、約1億円の差があると言われてます。それだけ学士は専門的な能力を持っていることの証明なのです。  
 スポーツの世界では、若い時には実技指導が好まれ楽しく行えることから、「大学まで出なくても」と考えられがちですが、実技指導だけでなくスポーツのプロモーションに必要なマネジメントやコーディネートを学ぶためには大学で学び、学士を取ることが望まれます。



### 活躍が見込まれる進路

- 公共・民間スポーツ施設の管理者
- フィットネスクラブの経営に携わる職員
- スポーツ関連企業の企画・開発・市場調査、販売担当、管理、監督者
- スポーツ活動に携わる社会教育主事
- 行政の地域振興・スポーツ振興・社会教育の担当者
- NPO やボランティア活動のコーディネーター
- 地域スポーツの運営に携わる指導者

- スポーツクラブマネジャー
- スポーツ団体の運営管理者
- 幼児体育指導者
- スポーツ資源をコラボレートするスポーツコーディネーター
- 大学院への進学
- 中学校・高等学校教諭（保健体育）

## キャリアカウンセリング

社会環境が大きく変わる中、働き方や将来設計へのサポートが大切になっています。ウェルネスでは、自己理解や職業選択を支援するツールを使って、演習や面談によるカウンセリングを実施。これにより、自分に最適なキャリアを模索、開発します。





## 取得を目指す資格



### 教職課程連携プログラム

2013年11月、教職課程連携による「中学校・高等学校教諭1種免許状(保健体育)」の取得に関する協定が締結されました。

この連携は、本学在学中に星槎大学共生科学部通信教育課程の科目履修生として受講し、中学校・高等学校教諭第1種免許状(保健体育)を取得するのに必要な単位を取得するものです。これにより、中学校・高等学校教諭第1種免許状(保健体育)を取得することが可能になりました。

※本学の学費の他に、星槎大学の受講料等、別途費用が必要です。詳細は本学までお問合せ下さい。

### 社会教育主事

任用資格。社会教育主事は自治体の教育委員会に属し、行政が行う生涯学習・社会教育事業の運営を担当する行政の専門職である。養成カリキュラムでは社会教育の概論、計画論、課題研究、現代社会との関係、施設、事業、教育成果の評価等を学ぶ。

### 幼児体育指導者1・2級(公益財団法人日本幼少年体育協会)

幼稚園・保育園・スポーツ施設等における体育指導技術に関する資格である。養成カリキュラムでは発育発達論、幼児体育論、プログラム作成法・指導法等を学ぶ。

### スポーツイベント検定(社団法人日本イベント産業振興協会)

スポーツイベントを通じて自己実現や社会に活力をもたらすことのできる人材の育成を目的とする検定。スポーツイベントの底辺拡大に貢献するものとして、大きな関心が寄せられている。

### 実践健康教育士(NPO 法人日本健康教育士養成機関)

学校、職場、地域、医療、福祉などの場面で必要な健康教育の知識や指導技術を取得し、健康教育の進歩・発展に寄与する専門職。実際の現場で健康教育の実践にあたる。

### JFA 公認サッカー C 級コーチ(公益財団法人日本サッカー協会)

12歳以下の選手・子ども達に関わるグラスルーツで、サッカーの基礎的な技術や一般的な身体活動の指導を行う指導者のためのライセンス。

### JFA 公認審判員資格2~4級(公益財団法人日本サッカー協会)

日本サッカー協会、あるいはその傘下にあるサッカー協会の主催する試合の審判を務めるために必要な資格。3、4級は各都道府県サッカー協会、2級は各地域サッカー協会が認定。

### 情報セキュリティ技士、ワード技士、表計算技士

(中央職業能力開発協会)

表計算技士及びワード技士は、文書作成ソフト、表計算ソフトを使用して、実務作業に直結した文書作成スキルを評価する資格試験。情報セキュリティ技士は、ビジネスユースやパーソナルユースを主なカテゴリとし、パソコン操作と周辺業務に関するセキュリティ対策に関する資格である。養成カリキュラムでは文章の作成・編集・校正、複数文書の編集・管理等を学ぶ。スポーツの専門職において、情報管理は必要不可欠なスキルである。

### アシスタントマネジャー(公益財団法人日本体育協会)

スポーツクラブの運営に必要な現状把握能力、判断力、説明能力、事務処理能力に関する資格である。養成カリキュラムでは、地域スポーツクラブの概論・現状、クラブマネジャーの役割、クラブの設立方法・運営等について学ぶ。

### スポーツリーダー(公益財団法人日本体育協会)

地域におけるスポーツ組織での指導や運営に必要な基礎技術に関する資格である。養成カリキュラムではスポーツの概念、文化としてのスポーツ、指導者の役割、スポーツ振興等について学ぶ。